開催日時：令和7年10月21日（火）13:30～15:00
開催場所：盛岡市都南総合支所　4階大会議室

資料２

第２０回　盛岡地区かわまち勉強会　出席者名簿

（敬称略、五十音順）

	氏　名	所属・役職等	出欠
1	阿部（アベ）　優（マサル）	北上川に舟っこを運航する盛岡の会　事務局	○
2	猪原（イノハラ）　勇輝（ユウキ）	ゼロイチキュウ合同会社　代表	欠席
3	内田（ウチダ）　尚宏（ナオヒロ）	（一社）いわて流域ネットワーキング　代表	欠席
4	海野（ウンノ）　伸（シン）	盛岡まち並み塾　理事長（会長）	○
5	大坪（オオツボ）　靖夫（シズオ）	神子田町内会　会長	欠席
6	菊池（キクチ）　拓巳（タクミ）	（一社）いわて流域ネットワーキング　理事	欠席
7	北田（キタダ）　公子（キミコ）	トラベル・リンク株式会社　代表取締役副社長	○
8	金野（キンノ）　万里（マリ）	NPO いわて景観まちづくりセンター　理事	○
9	軍司（グンジ）　俊道（トシミチ）	NPO 北上川流域連携交流会　理事長	欠席
10	小苅米（コガリマイ）　淳一（ジュンイチ）	中津川勿忘草を育てる会　副会長	○
11	越戸（コシド）　國雄（クニオ）	中津川勿忘草を育てる会　会長	欠席
12	下向（シモムカイ）　均（ヒロシ）	盛岡まち並み塾　理事	○
13	寺井（テライ）　良夫（ヨシオ）	NPO もりおか中津川の会　理事	欠席
14	松本（マツモト）　静毅（セイキ）	本町振興会　会長	欠席
15	松本（マツモト）　範雄（ノリオ）	下米内町内会　会長	○
16	宮澤（ミヤザワ）　俊次（シュンジ）	盛岡駅前東口振興会　会長	欠席
17	安原（ヤスハラ）　昌佑（ショウスケ）	中津川の水芭蕉を守る会　会長	○

佐藤（さとう）　博（ひろし）	盛岡市　都市整備部　公園みどり課　課長	○
藤原（フジワラ）　温（アツシ）	盛岡市　都市整備部　市街地整備課まちなか未来創生室　室長	○
真田（さなだ）　伸（しん）	盛岡市　交流推進部　観光課　課長	欠席
土田（つちだ）　昭夫（あきお）	国土交通省　岩手河川国道事務所　副所長（河川）	○
菊池（きくち）　義幸（よしゆき）	国土交通省　岩手河川国道事務所　盛岡出張所長	○

【事務局】

盛岡市	公園みどり課　今野正明・明地幹子 市街地整備課　まちなかみらい創生室　松野和彦・小玉諒 観光課　松戸紀佳	○
国土交通省 岩手河川国道事務所	工務第一課　課長　皆澤和哉 専門調査官　根本匠 河川占用調整課　課長　佐々木英紀 盛岡出張所　髙橋帆華	○

資料１

第 20 回盛岡地区かわまち勉強会　次第

日時：令和７年 10 月 21 日（火）午後１時 30 分～

場所：盛岡市　都南分庁舎　４階 大会議室

－次第－

1　開会・あいさつ

2　勉強会の位置付けと前回までの振り返り

3　事務局からの情報提供

（1）河川空間のオープン化について（盛岡市都市整備部）

（2）各団体の活動状況についての情報共有

4　その他　（全体を通しての質問・意見等）

5　閉会





第20回（令和7年度）盛岡地区かわまち勉強会　主な意見と対応方針

主な意見	事務局からの対応
①河川空間のオープン化について	
● 高水敷については、前回までの議論のような活動団体による恒常的な管理は難しく、今まで通りイベント毎での対応、一時占用でやるとの理解でよいか。 ● 舟運は5～9月いっぱいの4か月間という期間で実施する一方で、木伏緑地の天端は通年での利用である。そのあたりをふまえての整理としてもらいたい。	● 今回提案では、市場調査結果などもふまえて、維持管理を含めた通年利用が困難であるから、維持管理手間がかからない堤防天端の舗装されているところのみを占用、高水敷は従前どおりの一時占用という整理とした。 ⇒将来的な利活用ニーズに応じ、新たに占用による利用が可能なようにオープン化の指定範囲としては、広く設定している。
● 8月の舟っこ流しの際に明治橋の上流のところでキッチンカーが来て販売をやっている。右岸側のイベント前の草刈は舟っこ流し協賛会がやっており、左岸側は協議会がやっている現状がある。舟っこ流しは市協賛のイベントであることからも、こういった実態を踏まえて占用のエリアを考えているということでよいか。	● 舟っこ流し会場部分についても、営利活動が可能となるようにオープン化の指定範囲として設定した。 ⇒多くの団体が使いたいということになれば、組織化などによる利用調整が必要となるが、基本的には、使いたい事業者が市と契約を結び、草刈等を実施するという考え方である。
● 北上川のみがオープン化指定範囲となっているが、中津川のふかくさの前あたりで今ベンチを置いたりしていろいろやってるような雰囲気もあり、中の橋の下流あたりでもいろんなイベントをやっているようなので、その辺も含める考え方はどうか。	● 現状は一時占用の許可を受けて利用している状況である。 ⇒中津川でも何かしたいという機運が醸成し、事業内容や担い手が決定すれば、改めて占用、オープン化指定範囲として追加していくことも考えられる。
● 盛岡で想定されているのはスポットのイベント、例えばマルシェみたいなものか。民間事業者が営業するとなった時には地元の人だけではなくて、首都圏など地域外の大手が参画することも想定されるがどのようなイメージか。 ● 実際に地域外事業者などからの引き合いがあるのか。	● 参画事業者について、営業所の所在地の制限をするということは考えていない。 ● 昨年の市場調査実施時よりは、利用の希望が増えていると感じている。 ⇒オープン化の許可を受けたらHP等で営利目的で使うことができるということをPRして様々な事業者のニーズに応えたい。
● 高水敷については、何がつくれて何がつくれないのか、何が何日間置けるのかなどが分かりづらく、水道や電源も課題である。 ● 高水敷の河岸の形状も崖状になっており川に落ちる危険があり、河川敷の土が柔らかく車がはまり易い。 ● こういったことを具体的に掘り下げて整理しなければ話が進まないと思う。	● 今回提案では社会実験による成果を受け、同様の利活用が可能なような最小限の占用範囲としている。 ⇒将来的に、新たに占用範囲を拡大するということになれば、利活用ニーズに応じたインフラ整備や安全確保についても検討していく必要がある。

②今年度の活動状況や情報交換

【下米内町内会】
- 中津川に面しており、綱取ダムの会の方では、年に1回、鮭の稚魚を放流している。ただ、この2～3年鮭が上がってこないという話を聞く。これは一匹も上がってこないということだそうだ。鮭の放流に意味があるのかを見極めたい。
- 中津川にどういう魚がどれくらいいるのかがわかっていない状況であり、調べたいと思っている。

【中津川勿忘草を育てる会】
- 会長の体調が悪く、なかなか活動できない状態であり活動を休止している。
- 中津川の周辺は雑木で囲われていて道を歩いていてもほとんど川が見えなかったが、相当伐採していただき、今はすっきり川が見えるようになっており、心から感謝を申し上げる。今後も続けていただきたい。
- 河川内にヤナギがあるが、ヤナギよりもクルミがあれば良いと思う。

【トラベル・リンク株式会社】
- 観光業として盛岡にお客様を案内しているが、まち歩きがプログラムに入っており、紺屋町、鉈屋町、材木町辺りが人気で、いずれも川を含んだ案内が欠かせないところになっている。
- 個人的に最近心配なのは川を下ってクマが来ていることで、遊歩道をいつも歩いて案内していたが、冬になるまでは少し控えようかなと考えている。

【NPOいわて景観まちづくりセンター】
- いわて景観まちづくりセンターの活動範囲は県内広くなっており、残念ながら今年度は盛岡を対象とした事業は行わなかった。
- 今年は金ヶ崎町の城内諏訪小路という重伝建となっている地域、北上川を望む要害があるお城がある地域であるが、そこの景観点検などを行った。今後はもう少し川に寄った、盛岡に寄った活動も検討していきたいと思っている。

【中津川の水芭蕉を守る会】
- 環境アドバイザーとして、中津川の水芭蕉を守る会というのをやっており、中学生とお年寄りの方々で花を植えたりしている。他に、学校、幼稚園から頼まれて、子供たちに、自然界はどうなっているのか、それを通してわかるものなどを伝える活動をやっていた。
- 中津川の水芭蕉が出る少し後ろの方に、20年くらい前から小さな木を植えてきたら非常に綺麗になった。できれば河川公園みたく作ればいいなと思う。バイカモが見られるところがあるが、誰も注目していない。

②今年度の活動状況や情報交換

【北上川に舟っこを運航する盛岡の会】

- 平成30年から「盛岡地区かわまちづくり（舟運）実行委員会」というのを盛岡市と国交省に協力いただいてやっており、これで舟っこを流せている。
- 4月26日に中央消防署と合同訓練（舟っこを貸与する協定あり）、5月10日には川開きを実施、今年2号を初めて造り、木造船2艇でやっている。一番大きなイベントが北上川フェスタin盛岡で、今年第8回を行わせていただいた。国交省のゴムボートの周遊や馬を河川敷に連れてきて乗っていただくとか、舟っこから降りたらまち並み塾さんにまちを案内していただいて、まちと川をつないで、駅前と鉈屋町をつなぐというような形で、それから盛岡市内にお客さんに流れていただいて、まちづくりになるという風なことも考えている。9月6日に「100人でいただきます」というのをやって、共催事業で全国日本司厨士会、調理師さんの会と河川敷で100人でご飯を食べ、子供は無料、大人は500円ということでやらせていただき、皆さんに喜んでいただいた。
- 通常の運航というのはもりおか港、開運橋のところから鉈屋町の明治橋のたもとにある新山河岸まで舟で行って、そこから降りてまちを歩いてまちづくりをして帰ってくる、そういう風な事業をやっている。
- 旭橋から夕顔瀬橋の間の河原にドウダンツツジか何かの木を植えているが、大きくなって川が見えなくなっている。子供が落ちたときに見えないと危ないことから、見えるような形での川の管理ができるようになっていといけないと感じている。
- 今年最後の事業として舟運まちづくりの講演会をやる。ダムの所長、あるいは盛岡市の公園緑地課の北上川と城下町について知っている方に講演してもらうことになっており、参加いただければと思っている。

【盛岡まち並み塾】

- モドさんが盛岡を紹介してから外国の方とか県内、県外、日本全国から鉈屋町に訪れる方が増えており、舟っこが無くても人が来るのでないかなと思っているところではあるが、やっぱり舟に乗ってから鉈屋町にくると非常にお客さんが喜ばれている。
- 北上川を使って観光、地域活性化を目的に始めた舟運であり、開運橋から下って明治橋で上がって、鉈屋町方面を見て、八幡町遊郭と肴町等を通って駅に戻るという周遊観光というのができないかということで動いている。
- 観光客は、外国の方もそうだが歩くのは苦にならないのだが、一番苦心しているのが市内の方々、日本の方々が歩きたがらないということである。
- 舟から降りてから鉈屋町の先までガイドして、三喜亭で昼食をとっていただくセットでかなり人気がある。
- 4月には旧暦の雛祭りをやっているし、8月にはお盆の送り盆ということで黒川さんさの門付け等を含めて、舟の運航と鉈屋町のまちづくりをやっている。

【その他の報告事項】

- 盛岡市かわまち勉強会というのは、川とまちをつないで、みなさんでそれぞれの活動を通じながら、活性化なり、まちづくりなりを進めていくという趣旨であり、本日みなさんの活動をお聞きしまして、今後ともそれぞれの立場、団体の方でご活躍いただければなと思う。（盛岡市）